なかひろタイムス

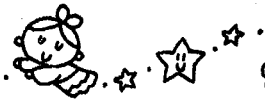
～子育て応援情報誌～

2020 7月号

糸魚川幼稚園

雨が降ると、外であそべなかったり、洗たく物が乾かなかったり、湿気がありべとべとしたり、とてもうっとおしく感じます。でも植物に目を向けると雨のしずくを受けた紫陽花がますます色鮮やかになったり、木々の緑も美しさを増していくように見えます。私たち人間を含め生き物みんな潤いが必要ですね～。

さてさて、このなかひろタイムスをずーっと読み続けて頂いてる方は、気づかれましたでしょうか!? 筆者が変わったことに!! 2019.12月号～2020.3月号を担当した皆さまと同世代!?であろう子育てまっ最中の職員2名ですが、1人は産後、もう1人は産前と…（そう!あの生活をしているところです）って訳でまたまた初代の2人で書いております。ママ目線からパパ目線に戻りました。昭和生まれの昭和育ちですが、孫を見守る感じで、みなさまの子育てを応援しますね～。今まで同様気軽に読み流して下さいね♥



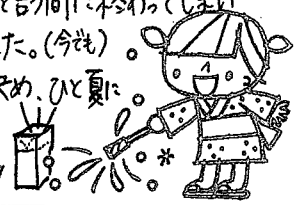
コロナ禍で夏の風物詩である花火大会や（私自身楽しみにしていた）まつり、イベントが次々と中止になってしまいましたね。でも～すごし方は、人それぞれです!! 遠出しなくても、人混みに行かなくても、年齢に応じて楽しみましょう。

ちなみに、我が家の娘たちが幼い頃は…

★アイスを買っても1コ食べきれないし、パピコの小さいのは汚れなくて量も調度いいけど㊥割高だしこ製氷器にジュースを入れて凍らせてミニアイスを作ってました。少し濃い目のジュースがおいしかったかな～

★幼稚園のバザーの即売コーナーで手動のかき氷機を低価格でGetし、市販のシロップを買いおうちかき氷を作ってました。お祭のかき氷は、量も多く食べきれず、親は、冷たい色水を飲む。かわいい器もその時だけで。持ち帰るときは、べたべただし。

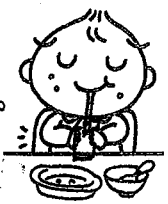
★火薬が値上がりしたからか、あっと言う間に終わってしまいますが、おうち花火を楽しみました。（今でも）。大袋のを買って、1回3～4本と決め、ひと夏に何回もやりましたよ～。水を入れた牛乳パックにゴミを入れると処理もラク。



なかよしひろば系幼について

一日でも早く、みなさんと楽しい活動を行いたいのですが…園内の活動や行事も感染予防を念頭に内容を考慮しているのが現状です。そのため"なかひろ"も今のところ9月の中旬頃から始めたいなぁ～と考えています。申し訳ないですがあと少しお待ち下さい!!

幼稚園では、給食時の飲み物を飲む時やおやつ時の水分補給をする時にコップを用いて飲んでいます。でも…0～1才児さんは、ストローマグを活用しております。さてさてストローを使って飲めるようになったのは、いつ頃ですか!? どうやって飲めるようになりましたか!?「吸って飲む」成長段階の一つですよね～



私の場合…出産祝いとして頂いた離乳食セットに乳首タイプやこんなタイプや色々と変えられて最終的にストローになる物が入っていて、それを先ず"使ってみました。初めてだったので興味があり使ってみたい私の気持ちが先行し、試されてる本人の気持ちと合わず。使いこなせませんでした。しばらく時期を空けてから…幼児用ドリンク（パック）を買って、こぼしてもいいように&口唇が乾けば本能的に飲みたくなるか!! をねらいお風呂に入ってる時に練習してみました。目の前で話したり飲んでみたり、（わずかな量の小さいパックで飲みすぎ注意しながら…）しかし、本人の感覚次第なので、言葉で説明しても わかるわけがない… 何度か試みましたがまたまた断念。

ある日、似たような子（オ子）をもつ友だちが遊びに来てて、その子が何気にコップ飲みなのを見た直後、うちの娘もパックジュースを手にとりチューッと「えーっ!! まじかぁー!?」あの手この手より百聞は一見にしかずってことかぁ～。まぁ、できるタイミングだったのかもしれませんが、そんなもん!? なんですよねー。

コップへのSTEP UPは、少量から始め、コップを傾け飲むと言うより、コップと口の中を飲み物が往復してる状態から…でした。（段々お茶がしてごってくる…あれです。）その内上手に飲めるようになりましたけどね～。できてしまえば簡単なこともできるようになるまでは、様々な道のりがありますよね～、個人差があってあたりまえなんですが、「なんでできないの――!?」とついヒートアップしてしまったり。逆効果と承知しながら必死になりますよね～。それは「自分は親であって我が子を育てよう」とする気持ちの現われで、決して悪いことではないと思いますよ!! それだけ真剣に向き合ってるってことですし…その行き詰った時に「まっいいっかぁ～」ができるかどうかがpointで～。このタイムスでも何回か話題になる「まっいいかぁ～」は、手抜きではなく、「できるタイミングじゃなかったんだ…まっいいかぁ～」と気持ちをリセットできることばかと～。その方が次へと繋がりますしね～。できるようになるは、幼い時期月に限らず、大きくなるにつれ少なくはなりますが、ずっと続くと思いますよ。私みたいに大きくなりすぎると、『できるようになる』事より『できていたのにできなくなってしまった』事の方が多くなりますけどね。できるようになるまでの道のりは、今となれば笑い話となり、当時は必死だったのが、いい思い出となっています。関わった人しか感じれないすてきな宝物です。もっともっと増えるといいですね。母子手帳や育児日記にも"できるようになった日"みたいのを記録する頁ありますよね～ 生まれて数年、数ヵ月の間に初めて記念日がいっぱいありますよね～。進化がうらやましいです!!

余談ですが――、幼稚園の先生という職についていて、私がせつなくなる時は…子どもがケガをした時です。目の前にいても防げないことがありますから。逆に嬉しい時は…子どもが何かをできるようになる過程をお家の方と一緒に関わったり、見守ったりして、できた時に喜び合えることです。私が何かをできるようになっても自己満足でおわりますが。子どもができるようになると周りがしあわせな気分になるような気がします。